【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【公開番号】特開2016-46865(P2016-46865A)
【公開日】平成28年4月4日(2016.4.4)
【年通号数】公開・登録公報2016-020
【出願番号】特願2014-167671(P2014-167671)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｊ　50/00　(2016.01)
Ｈ０１Ｆ　38/14　(2006.01)
Ｂ６０Ｍ　7/00　(2006.01)
Ｂ６０Ｌ　5/00　(2006.01)
Ｂ６０Ｌ　11/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｊ　17/00　Ｂ
Ｈ０１Ｆ　23/00　Ｂ
Ｂ６０Ｍ　7/00　Ｘ
Ｂ６０Ｌ　5/00　Ｂ
Ｂ６０Ｌ　11/18　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成29年5月18日(2017.5.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
受電装置に非接触で電力を伝送する送電装置であって、
送電コイルユニットと、
前記送電コイルユニットに接続される電気機器と、
前記送電コイルユニットおよび前記電気機器を収容する筐体と、
を備え、
前記筐体は、
設置面側に位置する設置壁と、
前記設置壁を側面側から覆うように設けられて前記筐体内に空間を形成する外殻壁と、
前記空間を区画する区画壁と、
前記外殻壁の電力送電面に形成された開口部を閉塞すると共に前記送電コイルユニットによる電力の伝送を許容する蓋部と、
を含み、
前記区画壁は、前記筐体の前記空間を前記蓋部が位置すると共に前記送電コイルユニットが収容されるコイルユニット収容部と、前記電気機器が収容される電気機器収容部とに区画するように設けられ、
前記外殻壁と、前記区画壁とは、金属で形成されており、
前記外殻壁は、
前記開口部が形成されると共に前記電力送電面側に設けられた主面壁と、
前記側面側に位置する側面壁と、
を有し、

前記送電コイルユニットは、送電コイルを含み、
前記送電コイルは、穴部が形成されると共に、巻回軸線が前記蓋部および前記設置壁を通るよう配置され、
前記電気機器は、少なくとも、フィルタ機器部、ＡＣ／ＤＣ機器部、および、ＤＣ／ＲＦ機器部を含み、
前記フィルタ機器部、前記ＡＣ／ＤＣ機器部、および、前記ＤＣ／ＲＦ機器部の少なくとも１つは、前記送電コイルの前記穴部と前記設置壁との間に位置する領域から離れた位置に配置されている、送電装置。
【請求項２】
前記区画壁の導電率は、前記外殻壁の導電率よりも高い、請求項１に記載の送電装置。
【請求項３】
前記主面壁と前記区画壁とは一体に形成され、
前記設置壁と前記側面壁とは一体に形成されている、請求項１に記載の送電装置。
【請求項４】
前記設置壁は、金属で形成されている、請求項１から請求項３のいずれか１項に記載の送電装置。
【請求項５】
前記送電コイルユニットは、
平板状のフェライト板と、前記フェライト板に対して前記電力送電面側に配置される渦巻き型コイルと、を含む、請求項１から請求項４のいずれか１項に記載の送電装置。
【請求項６】
送電コイルユニットと、
前記送電コイルユニットに接続される電気機器と、
前記送電コイルユニットおよび前記電気機器を収容する筐体と、
を備え、
前記筐体は、
設置面側に位置する設置壁と、
前記設置壁を側面側から覆うように設けられて前記筐体内に空間を形成する外殻壁と、
前記空間を区画し、前記設置面側に凹む区画壁と、
前記外殻壁の電力送電面に形成された開口部を閉塞すると共に前記送電コイルユニットによる電力の伝送を許容する蓋部と、
を含み、
前記区画壁は、前記筐体の前記空間を前記蓋部が位置すると共に前記送電コイルユニットが収容されるコイルユニット収容部と、前記電気機器が収容される電気機器収容部とに区画するように設けられ、
前記外殻壁と、前記区画壁とは、金属で形成され、
前記外殻壁は、
前記開口部が形成されると共に前記電力送電面側に設けられた主面壁と、
前記側面側に位置する側面壁と、
を有し、
前記筐体は、
前記設置壁と前記側面壁とが一体に形成された主筐体と、
前記区画壁と前記主面壁とが一体に形成され、前記主筐体の開口を塞ぐ蓋体と、
を含む、受電装置に非接触で電力を伝送する送電装置の製造方法であって、
前記主筐体の内部に前記電気機器を収容する工程と、
前記電気機器が収容された前記主筐体の開口を、前記蓋体で塞ぐ工程と、
前記蓋体の前記区画壁の内部に前記送電コイルユニットを配置する工程と、
前記区画壁の開口を前記蓋部で塞ぐ工程と、
を備える、送電装置の製造方法。
【請求項７】

前記蓋体の前記区画壁の内部に前記送電コイルユニットを配置し、前記区画壁の開口を前記蓋部で塞いだ後に、
前記電気機器が収容された前記主筐体の開口を、前記蓋体で塞ぐ、請求項６に記載の送電装置の製造方法。
【請求項８】
送電装置から非接触で電力を受電する受電装置であって、
受電コイルユニットと、
前記受電コイルユニットに接続される電気機器と、
前記受電コイルユニットおよび前記電気機器を収容する筐体と、
を備え、
前記筐体は、
設置面側に位置する設置壁と、
前記設置壁を側面側から覆うように設けられて前記筐体内に空間を形成する外殻壁と、
前記空間を区画する区画壁と、
前記外殻壁の電力受電面に形成された開口部を閉塞すると共に前記受電コイルユニットによる電力の受電を許容する蓋部と、
を含み、
前記区画壁は、前記筐体の前記空間を前記蓋部が位置すると共に前記受電コイルユニットが収容されるコイルユニット収容部と、前記電気機器が収容される電気機器収容部とに区画するように設けられ、
前記外殻壁と、前記区画壁とは、金属で形成されており、
前記外殻壁は、
前記開口部が形成されると共に前記電力受電面側に設けられた主面壁と、
前記側面側に位置する側面壁と、
を有し、
前記受電コイルユニットは、受電コイルを含み、
前記受電コイルは、穴部が形成されると共に、巻回軸線が前記蓋部および前記設置壁を通るよう配置され、
前記電気機器は、少なくとも、コンデンサ、整流器、および、ＤＣ／ＤＣコンバータを含み、
前記整流器、および、前記ＤＣ／ＤＣコンバータの少なくとも１つは、前記受電コイルの前記穴部と前記設置壁との間に位置する領域から離れた位置に配置されている、受電装置。
【請求項９】
前記区画壁の導電率は、前記外殻壁の導電率よりも高い、請求項８に記載の受電装置。
【請求項１０】
前記区画壁の導電率は、前記外殻壁の導電率よりも高い、請求項８に記載の受電装置。
【請求項１１】
前記設置壁は、金属で形成されている、
請求項８から請求項１０のいずれか１項に記載の受電装置。
【請求項１２】
前記受電コイルユニットは、
平板状のフェライト板と、前記フェライト板に対して前記電力受電面側に配置される渦巻き型コイルと、を含む、
請求項８から請求項１１のいずれか１項に記載の受電装置。
【請求項１３】
受電コイルユニットと、
前記受電コイルユニットに接続される電気機器と、
前記受電コイルユニットおよび前記電気機器を収容する筐体と、
を備え、

前記筐体は、
設置面側に位置する設置壁と、
前記設置壁を側面側から覆うように設けられて前記筐体内に空間を形成する外殻壁と、
前記空間を区画し、前記設置面側に凹む区画壁と、
前記外殻壁の電力受電面に形成された開口部を閉塞すると共に前記受電コイルユニットによる電力の受電を許容する蓋部と、
を含み、
前記区画壁は、前記筐体の前記空間を前記蓋部が位置すると共に前記受電コイルユニットが収容されるコイルユニット収容部と、前記電気機器が収容される電気機器収容部とに区画するように設けられ、
前記外殻壁と、前記区画壁とは、金属で形成され、
前記外殻壁は、
前記開口部が形成されると共に前記電力受電面側に設けられた主面壁と、
前記側面側に位置する側面壁と、
を有し、
前記筐体は、
前記設置壁と前記側面壁とが一体に形成された主筐体と、
前記区画壁と前記主面壁とが一体に形成され、前記主筐体の開口を塞ぐ蓋体と、
を含む、送電装置から非接触で電力を受電する受電装置の製造方法であって、
前記主筐体の内部に前記電気機器を収容する工程と、
前記電気機器が収容された前記主筐体の開口を、前記蓋体で塞ぐ工程と、
前記蓋体の前記区画壁の内部に前記受電コイルユニットを配置する工程と、
前記区画壁の開口を前記蓋部で塞ぐ工程と、
を備える、受電装置の製造方法。
【請求項１４】
前記蓋体の前記区画壁の内部に前記受電コイルユニットを配置し、前記区画壁の開口を前記蓋部で塞いだ後に、
前記電気機器が収容された前記主筐体の開口を、前記蓋体で塞ぐ、請求項１３に記載の受電装置の製造方法。